

国立西洋美術館を世界遺産に！！

「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」

L'Œuvre architecturale de Le Corbusier

—Une contribution exceptionnelle au Mouvement Moderne—



【発行】 2011(平成23年)年8月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1111 <http://www.city.taito.lg.jp/>

第35回世界遺産委員会について



第35回世界遺産委員会・会場の様子(6/28)



会場：パリ ユネスコ本部

ユネスコの第35回世界遺産委員会が、6月19日から29日までの間、フランスのパリ・ユネスコ本部で開催されました。国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」の推薦案件は、6月28日、約1時間の審議の結果、午後7時48分（日本時間）に、イコモス（国際記念物遺跡会議）勧告をひとつ上回る「記載延期」で決定されました。

吉住区長のコメント（平成23年6月28日）

本日、フランス・パリのユネスコ本部で開催中の第35回世界遺産委員会におきまして、国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」が審査され、「記載延期」との決定を受けました。

登録をめざしてさまざまな活動を行い、区民の皆様からもご支援をいただきまいましたので、今回の結果については、大変残念でなりません。

今後の対応につきましては、国、東京都などと協議しながら、結果について多角的な検証を行い、今後の方針の検討を行ってまいります。



世界遺産委員会での審議

「ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献」の審議は現地時間の午前 11 時 40 分過ぎに始まり、約 1 時間に及ぶ審議になりました。

審議ではシリアル・ノミネーション（複数の連続性のある資産の推薦）について否定的なイコモス※に対し、審議を行う委員国の多くから、イコモスの考え方や審査基準を問う質問等が出ました。最終的には、イコモスの「不記載」勧告から、一歩前進した「記載延期」とすることで決定されました。

※国際記念物遺跡会議（I COMOS）：世界遺産委員会の文化資産に関する諮問機関

※世界遺産委員会での決議区分

区 分		内 容
1	登録 (記載)	世界遺産一覧表に記載するもの。
2	情報照会	追加情報の提出を求めた上で次回以降に再審議するもの。
3	記載延期	より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要なもの。推薦書を再提出した後、約1年半をかけて再度諮問機関の審査を受ける必要がある。
4	不記載	記載にふさわしくないもの。例外的な場合を除き再推薦は不可。

○ 世界遺産登録等の状況(平成23年7月現在)

25件（文化遺産21件、自然遺産3件、複合遺産1件）の世界遺産が新たにユネスコの世界遺産リストに登録されました。
これにより世界遺産の総数は、**936件**になります。

2011年（第35回） フランス・パリ		
	新規登録	総数
文化遺産	21件	725件
自然遺産	3件	184件
複合遺産	1件	27件
計	25件	936件

日本からは、「平泉ー仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群ー」（文化遺産）、および小笠原諸島（自然遺産）の2件が新たに世界遺産に登録されました。

これにより、日本の世界遺産は文化遺産12件、自然遺産4件の計16件となりました。



お知らせ

国立西洋美術館で「大英博物館 古代ギリシャ展」が開催されています。

本展では、大英博物館が誇る古代ギリシャ・ローマコレクションから身体を表した130点あまりの彫刻や壺絵を厳選し、ギリシャ人が残した美の足跡をたどります。身体美の極致とも言われるギリシャ彫刻の傑作《円盤投げ（ディスコボロス）》は日本初上陸です。この機会に鑑賞してみたいかがでしょうか。

☆開催期間 平成23年7月5日（火）～平成23年9月25日（日）※月曜日休館

☆開館時間 9時30分～17時30分（毎週金曜日は20時まで）

詳しくは、HP参照 国立西洋美術館HP <http://www.nmwa.go.jp/>